

授業科目名	在宅看護学概論(2300231)		
時間割名	在宅看護学概論(22206)		
時間割担当	守本とも子 佐藤郁代 芝田ゆかり		
実施期	後期	単位数	2 必修
曜日・時限	火・2		

授業の目標・概要

高齢社会の現状と看護の対象者がおかれている保健医療福祉の施策を概観し、疾病や障害、虚弱のために看護ニーズを持つ在宅療養者とその家族の人格および個性を尊重し、対象者の強みを活かした全人的な理解ができる。看護のアウトカムとして、対象者のQOL向上をめざした保健医療福祉制度や在宅看護システムを理解し、専門職者として対象者の健康問題・生活課題を達成できる看護実践能力を培う。

学習の到達目標

- 1.在宅看護が必要とされる社会的背景の動向について説明できる。
- 2.在宅看護の目的・特性・役割について説明できる。
- 3.在宅療養者とその家族の特徴について説明できる。
- 4.在宅看護を支える保健医療福祉制度について説明できる。
- 5.継続看護と退院支援について説明できる。
- 6.在宅看護システムについて説明できる。
- 7.生活の中で必要となる安全管理について説明できる。
- 8.ケアマネジメントと看護の役割について説明できる。
- 9.在宅看護における倫理的課題について説明できる。

授業方法・形式

講義

授業計画

- 第1回 ガイダンス 在宅看護が必要とされる社会的背景：高齢化社会の現状、疾病構造の変化
 第2回 在宅看護の特徴：在宅看護の変遷
 第3回 在宅看護の特徴：在宅看護の特徴
 第4回 在宅療養者とその家族の特徴：生活者としての対象者
 第5回 在宅療養者とその家族の特徴：生活者としての家族
 第6回 在宅療養者とその家族の特徴：介護の現状と課題
 第7回 在宅看護を支える保健医療福祉制度：介護保険制度
 第8回 在宅看護を支える保健医療福祉制度：医療保険制度
 第9回 継続看護および退院支援：退院支援・調整にかかわるしくみと連携
 第10回 在宅看護システム：訪問看護サービス
 第11回 在宅看護システム：地域における他職種連携、レスパイトケア
 第12回 生活の中で必要となる安全管理
 第13回 ケアマネジメントと看護の役割
 第14回 在宅看護における倫理的課題
 第15回 在宅看護の展望、まとめ

成績評価の基準

毎回の授業中に行う小テストを中心に理解度を評価する（30％）
 定期試験において総合的な理解度を評価する（70％）

準備学習・復習及び授業時間外の課題

授業前は授業に関する章を読み、基礎知識をつけること。
 毎回の授業の冒頭で小テストを行います。授業終了後は講義内容を整理し、学習した内容について復習すること。

履修上のアドバイス及び留意点

生活の場で行われる看護について考えましょう。

教材・教科書

河原加代子他：在宅看護論/医学書院

参考書

適宜、資料を配布します。